



特別賞を受賞した藤原社長（右）と潘博文システム開発部長

11月20、22日の3日 称えた。

間、東京ビックサイトで開催された産業交流展2023の初日に東京都ベ
ンチャー技術大賞の表彰式が行われ、(株)オムニア・コンチェルト（藤原慶
太社長・東京都港区高輪3の11の3イハラ高輪ビル6階）が特別賞を受賞し、表彰された。受賞した製品は環境統合制御盤「コンチェルト」及び農
林業用環境監視制御システム「スフマート」で、
農林業関連製品としては唯一の選出となった。

オムニア・コンチェルト 農林業関連唯一の受賞

都のベンチャー技術大賞

・技術、サービスの開発や販路開拓を促進し、その優れた製品・技術、サービスの

を国内外に発信するため、革新的で将来性のあるものについて表彰し、開発・販売等奨励金を交付する。2023年は129件の応募があり、大賞、優秀賞、奨励賞、特別賞で計15社が受賞した。同社には東京都から表彰状と開発販売等奨励金50万円が贈られた。表彰式では小池百合子都知事が挨拶。表彰状等を贈呈してその栄誉を

「コンチェルト」は、1台の制御盤で20棟のハウスとハウス内6エリアを個別独立制御し、センサー1400個以上設置でき、LED480系統個別独立制御が可能。また、「スフマート」と連動し、PCやスマートフォンなどから3D画面で各ハウスの個別独立での監視制御を実現する。

会場内にはスタートアップゾーンとして、同賞受賞企業15社の出展スペースが設けられ、21日には同社も受賞企業としてプレゼンした。同社技術は、CO₂とAirの局所施用やサーモグラフィ、pH、LED、液肥、灌水などの制御を行う農林業用制御盤事業を礎にして、施設栽培用ハウス制御システムをはじめ、林業用育種、藻類培養、農林業用木製ハウス、しいたけ周年栽培、ソーラーシェア下露地栽培と農林水産業すべてを網羅し、幅広く活用できる。使用するセンサーは背番号制で故障時の交換も容易。木製ハウスには両面太陽光パネル付ブラインド型遮光システムを設置するなど環境面でも貢献する。

同社の藤原社長は「今年発売した3D画面で個別独立制御できるシステムによって、老若男女誰でも扱えるようになった。圧倒的な技術を誰でも使いこなせる態勢が整ったことで、当社の技術の良さが伝わりやすくなったと確信している。エントリーしている様々な製品技術の中から、当社の技術を評価していただけたことは非常にありがたい」と受賞の喜びを語った。